

社会調査実習Ⅰ

科目ナンバリング STS-301

選択必修 2単位

浦野 慶子

1. 授業の概要(ねらい)

本実習では、社会調査を実際に行うことを通じて、社会調査法や社会統計学などで体系的に学んだ社会調査の知識と技術を実践的に体得し、社会調査を遂行する能力を獲得することを目的としています。

最初に、社会調査法の基礎的知識と技術を復習し、次に、「大学生の就職に対する意識と就職活動に向けたソーシャルメディアの利用状況に関する調査」を全体テーマとして各受講生の問題関心に応じて具体的な下位テーマを構想して、テーマごとにいくつかのグループを結成します。社会調査を実践する具体的な作業はグループ単位で行うことになります。社会調査のプロセスのうち、社会調査実習Ⅰでは仮説の構成と調査票の作成を中心に行います。

※秋学期に社会調査実習Ⅱ(同一曜日・時限)を継続して履修する必要があります。

2. 授業の到達目標

- 1) 社会調査法や社会統計学などで体系的に学んだ社会調査の知識と技術を実践的に体得する。
- 2) 社会調査を遂行する能力を獲得する。

3. 成績評価の方法および基準

実習への参加度(40%)、グループ発表の内容(60%)によって総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

轟亮・杉野勇編 『入門・社会調査法〔第3版〕』 (法律文化社)

5. 準備学修の内容

テキストや配布した教材・資料を授業前・授業後に読み、予習復習をする。

6. その他履修上の注意事項

遅刻・欠席をせず、積極的に参加してください。

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス	グループ分け
【第2回】	調査の構想	
【第3回】	調査の企画	
【第4回】	調査の企画と役割分担	
【第5回】	仮説の構築	
【第6回】	仮説の具体化	
【第7回】	調査項目の選定	
【第8回】	質問文の作成(1)	
【第9回】	質問文の作成(2)	
【第10回】	調査票の作成(1)	
【第11回】	調査票の作成(2)	
【第12回】	プリテスト	
【第13回】	プリテストの結果の検討	
【第14回】	調査票の修正	
【第15回】	調査票の印刷、学習到達度の確認	